

太閤園株式会社

代表取締役社長 総支配人 山下 信典様, 総務課 チーフマネージャー 榎本 直広様

施設情報

開業60周年を迎えられた太閤園株式会社様。関西経済界の雄・藤田傳三郎男爵の邸宅を前身とします。築山式回遊庭園であり、由緒ある石塔や燈籠などが多く配され、緑豊かな自然であふれています。都会の一角にありながら、人々の心を癒すオアシスのような庭園です。



“光と霧と庭の調和。鮮やかなながらも派手すぎない
雰囲気、霧の雲海が生み出してくれました。”

夜の庭も魅せたい

太閤園は、60年前の開業当時の趣を残し、四季折々の花や緑が鮮やかに映える庭園です。しかし夜は暗すぎるという課題がありました。

私たちはブライダル事業を主としており、挙式を検討いただくお客様と夜に打ち合わせすることもあります。太閤園で挙式を!というお客様は、和の雰囲気や日本庭園を好まれる方が多いのでぜひ歴史ある庭を見ながら検討していただきたいのですが、真っ暗で何も見えないんですよ。「本当はきれいな庭があるんですよ」と営業員が必死に説明するものの「夜の庭を変える」ことが緊急の課題でした。

由志園の庭に感動

私たちは島根の由志園さん(日本庭園)に調理指導を行っているのですが、そちらでイルミネーションと雲海(霧)の演出をしていると聞き、調理の状態確認を兼ねて何かヒントがないかと見学に行ったんですね。

すると敷地に入った瞬間、圧倒されてしまいました。イルミネーションの美しさもさることながら、何とんでも雲海。あまりに幽玄で美しく、以前訪れた青森・奥入瀬溪流の霧深い情景が思わず浮かびました。光(イルミネーション)と霧が

こんなにうまく調和するなんて!と感銘を受けた瞬間ですよ。小規模でもやってみたいと思い、由志園常務の門脇さんに「うちは調理指導をするから、そちらはイルミネーションと霧の指導をしてくれませんか?」と相談し快諾いただきました。3年かけて完成させることを目標に、庭園の改修が始まりました。

太閤園での光と霧

毎年5月中旬～6月末に蛍の鑑賞イベントをやるのですが、蛍は寿命が短く開催期間も終盤に差し掛かると蛍の数が減ってしまうので、代わりに霧を出し雲海を作ったんです。ライトアップも少し。すると、蛍が少ないことよりも雲海良かったよと好評の声が多かったです。霧を使ってみて成功でした。



左から山下様、榎本様

この蛍鑑賞イベントを経て、イルミネーションイベントが始まりました。一番苦労したのが「華美」と「侘び」のバランス調整でした。若い方々でも楽しめる空間が作りたいのですが、あまり派手な演出を入れると日本庭園の本来の良さが損なわれてしまう。そこは門脇さんのアドバイスもあり、何とかうまくいきました。光は日本の伝統色を使い、色の説明をナレーションで入れるといった演出。鮮やかなながらも派手すぎない所を狙えたと思います。そしてなにより霧が庭全体の雰囲気を整えてくれました。噴霧後も雲海が残り、そこに光が投影される様はとても幻想的です。

池のほとりにある料亭・淀川亭からも、霧が幽玄と夜の庭にたゆたう様子をご覧いただけます。思わず「あれなんだ?」と見てもらえるような情景が作り出せたのではないかと。



思わず目に留まるような情景を作り出す。



イルミネーションの様子。日本の伝統色の明かりと霧が織りなす光景。



「太閤園の夜の庭は生まれ変わった」ということをもっとアピールしていき、リピートに繋げていければ良いなと思っています。

余談ですが、薄暮と呼ばれる夕暮れの時刻に見る雲海はとつてもきれいですよ。

カップルでの来場者数が増加

ブライダル市場全体は年々縮小傾向にあります。こうしたイベントを開催することで何とか歯止めになっている印象があります。イルミネーションと雲海を導入してからカップルのお客様が圧倒的に増えました。夜の庭を活性化できた結果、デートで訪れるお客様が増え「将来はここで」と挙式を考えていただくきっかけになったのかなと思います。

これからの太閤園

ブライダルに次ぐ新たな事業「アニバーサリー事業」を計画しています。太閤園の永い歴史の中で5万組の方々が挙式されました。その方々の還暦や米寿などの人生の節目の記念日をここで過ごしていただけたらいいなと思ったのがきっかけです。また、併設している藤田美術館の3年後のリニューアルオープンに合わせて庭を完全なものにしていきたいとも考えています。美術品を見た足で庭も見に行こうかと思ってもらえる空間を作りたい。3か年計画はこれに起因します。

伝統ある庭を守りながら、新たな挑戦をし続ける。その挑戦には霧が不可欠というわけです。現状で100%満足しているわけではないので、ブラッシュアップを重ねながら光・霧・庭がより調和した美しい空間作りをしていきたいです。



池を中心に霧がゆったりと漂います。(通常は昼の噴霧はありません。)

Product Details

演出・冷房
鎮塵用製品 涼霧システム®

環境をデザインする
システム

「涼霧システム®」は、10~30μmの霧「セミドライ Fog®」を発生させ、微細な霧を音響・映像などと合わせて利用する演出、霧が蒸発する際の気化熱による冷房、打ち水効果による発塵の予防など、さまざまな用途に活用可能です。



お問い合わせ・資料請求・デモ実演・お見積りは下記まで。「取材リーフレットを見た」とお伝えいただくとスムーズにご対応可能です。お気軽にご連絡ください。